

- 清水さんのお話を聞いて何度も涙がこぼれそうになりました。性について深く知ることができ、とても良かったです。中でも一番心に残っているのは「らしさ」です。どんな時でも自分らしく、自分らしさを大切にすること、これは言葉ではすんなりと簡単に言えますが、実際はとても難しいことだと思います。人はそれぞれみんな違って、良いところも悪いところもある。でも、自分らしさがあるからこそ、今ここに存在していただけるのだと思います。色々な人がいるということを理解することの大切さを学ぶことが出来ました。
- 清水さんのお話を聞いて、自分の周りにも心と身体の性別が違う人がいても全然おかしいことではないんだなと思いました。性同一性障害も一つの個性だと思います。今の社会、マイノリティに対する偏見などがあると思いますが、人はみんな平等なので偏見がなくなればいいと思います。
- 「自分はこうあるべきだ。あなたはこうあるべきだ」と決めつけるのではなく、自分の嫌いな部分も受け入れて自分らしく生きていきたいと思います。悩んでいる人を支えてあげられるようになりたい。これからもっと LGBT の人たちへの理解が深まりみんなが暮らしやすい社会になるといいと思いました。
- 自分らしく生きるには、まず努力することだと思いました。そして、諦めないことだと思いました。自分らしく生きることは簡単に思えてとても難しいことですし、自ら動かなければ何も始まらないと感じました。私は五感が全て揃っていますし、手も足もあって病気もしていません。それがあたり前のように思って過ごしています。今回清水さんのお話を聞いて、自分がいかに幸せに過ごしているかを感じましたし、LGBT について知ることができました。この先差別がなくなることを望んで、自分自身を信じて行動していきたいです。「自分らしく生きる」この言葉は生きているすべての人に向けてのメッセージだと思います。
- 今までは LGBT 当事者の方と出会ったときに少し距離を置いていたりしましたが、今日清水さんのお話を聞いて今までの考え方が変わりました。クラスで例えれば 40 人 40 通りの個性・考えが存在します。もしクラスに清水さんのように悩んでいる人がいたら、避けたり、批判するのではなく、相談にのってあげたいと思いました。これから社会に出ていくにあたって、分からないことばかりで不安で消極的になりがちですが自分の明るさを忘れずどんなときでも自分らしく生きたいです。
- 性同一性障害ということをかミングアウトしたり相談したりすることは勇気がいることだと思います。ですが本当の自分ではなく偽の自分でこの先も居続けることの方が苦痛だと感じました。清水さんは環境や社会に立ち向かい本当の自分を見せるためにいろいろな苦勞を乗り越えてきたと思います。努力を惜しまず、何があっても前に進み挑戦していく姿勢が大切だと思いました。また実際に行動してみないと結果がどうなるか分からないので自分の行動を信じて行きたいです。